

2019年問題についての講演会／エネルギー問題展示

屋根上ソーラーどうなるの？



～2019年問題を考える～



屋根に設置した太陽光発電の電気の買い取り期間が終わる住宅が、

2019年11月以降、急激に増えます。これによって、

電力会社に買い取り義務のない電力が大量に発生します。

これが2019年問題です。

(注:四国電力は買い取りを続けることを発表していますが、買い取り価格は今のところ不透明です。)

住宅数では2019年11～12月に53万世帯200万kW、

2023年までに累計で165万世帯670万kW、

原発7基分に近い「燃料費タダ」の自然エネルギーの電力が、

下手をすると宙に浮いて利用されなくなるおそれがあります。

この問題について、ごいっしょに考えてみませんか？



講師：林 敏秋さん（再エネ工房）

日時：2019年2月10日（日）13:30～15:30（開場は13:15）

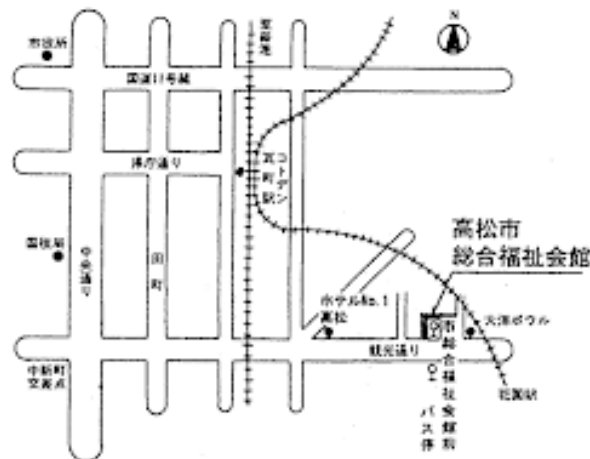
会場：高松市総合福祉会館 5階/第2会議室

（高松市 観光通2丁目8-20）

資料代：500円（事前予約不要）

駐車場：あり（無料。台数に限りがあります）

同時開催：自然エネルギー、エネルギー問題についての資料展示



主催：自然エネルギー100%社会学習会

連絡先：TEL:087-813-0715

Mail: hibire@mb.pikara.ne.jp